

【学校名】

由布市立阿南小学校

実態(課題)の把握	
<p>(1)不登校等に関する状況について</p> <p>平成28年度と29年度学年始めにおいて、不登校および不登校傾向の児童はいない。また、日数30日以上長期欠席者についても対象児童はいない。</p> <p>(2)自校の課題について</p> <p>学年が上がるにつれ自尊心の低い児童が増える傾向にある。また、集団生活のルールやマナーについての意識が十分でないことから、人間関係でのトラブルも見られる。さらに、児童の家庭環境もさまざま、基本的な生活習慣が身につけていない児童もいる。</p> <p>以上のことから、不登校・不登校傾向の未然防止のため、児童の自尊心を高めるとともに、集団生活のあるべき姿についてしっかり意識させていくことが重要である。</p>	
① 重点 目標	自分に自信・友だちに思いやりをもつ子どもの育成
② 達成 指標	不登校児童ゼロ、児童アンケートで90%以上が「学校が楽しい」と回答する
③ 重点 的取 組	<ul style="list-style-type: none"> ○全教職員による児童の実態と指導の方向性の共通理解、指導の推進。 ○お互いのよいところを認め合う場の設定。 ○集団生活のきまりを大切に、落ち着いた生活の促進。 ○基本的な生活習慣の定着促進。 ○生徒指導の3機能を意識した学級活動や児童会活動、授業改善の推進。 ○専門スタッフとの連携。 ○「あったかハート1・2・3」「ぼかぼかハート1・3・5」の確実な実施。
④ 取組 指標	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月生活研を実施し、児童の実態と指導の方向性を共通理解し、全職員で指導する。 ○各学級で、必ず一日の中で「よいところ見つけ」を実施する。 ○毎月、児童会を中心に「なかよしめあて」「あいさつめあて」を決め、各学級でより具体化した指導を推進する。月に1度、児童集会の場で全校の振り返りの場を設定する。 ○「生活リズムがんばり表」とおして、児童の生活習慣の改善すべき点を明らかにし、児童個々の生活習慣の改善を推進する。 ○平成29年度阿南小学校の授業改善計画を推進する。 ○SCやSSCなどの専門スタッフとの計画的な連携を図る。 ○欠席1日で電話、2日で家庭訪問、3日で保護者との面談、欠席5日でケース会議を必ず実施する。
<p>組織運営と検証改善(検証頻度と検証方法)</p> <p><組織運営></p> <ul style="list-style-type: none"> ○校長、教頭、教務主任、生徒指導主事、養護教諭、担任、SCで月1回開催。 <p><検証改善></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校の重点目標達成のための取組の検証と同期化し、児童・保護者・教職員アンケート及び指導記録等を基にして、評価・検証・改善を学期ごとのサイクルで実施していく。 	
<p>SC、SSW、地域不登校防止推進教員の位置付け、活用方法について</p>	
<p><SC、SSW></p> <ul style="list-style-type: none"> ○SC及びSSWと、常に児童の状況についての情報共有を図り、児童・保護者との相談がスムーズに進むよう配慮するとともに、必要に応じてケース会議等へ参加してもらい、指導に対する専門的アドバイスをもらう。 <p><地域不登校防止推進教員></p> <ul style="list-style-type: none"> ○必要に応じて、校内研修の場へ招聘して、由布市の状況等の説明を受けるとともに、本校の具体的取組についての協議に参加してもらいアドバイスをもらう。 	

児童アンケート	「学校は楽しい」	→	82%
保護者アンケート	「子どもは学校が楽しいと感じていると思う」	→	77%
不登校及び不登校傾向の児童		→	0名